

けんこうだより



番水さん 野本さん 長野さん 川村さん
妹背牛町の保健師

胃がん検診、受けていますか？

このページの内容についてのお問い合わせ
健康福祉課健康グループ TEL 32-2412

国のがん検診の目標受診率 50%と比較して、町のがん検診の受診率は 20%に満たない状況です。胃がん検診は肺がん・大腸がん等、他のがん検診と比較して受診率が特に低い傾向にあります。胃がん検診はバリウムや胃カメラなど、身体への負担が大きいことから億劫に感じる方も多いかもしれません。

しかし、胃がん検診も他の検診と同様に、定期的に受けておきたい検診です。今回は胃がんのリスクや原因について、合わせて知っておきたい胃がんと「ピロリ菌」との関係をご紹介します。

◇胃がんについて

胃がん罹患するリスクを全国的にみると、男性は約 11 人に 1 人、女性は約 24 人に 1 人の割合と言われています。

胃がんの原因としては、塩分、喫煙、飲酒など、生活習慣が関係していることがわかっています。

また、胃がんの初期は症状を自覚しにくく、症状が出たときにはがんが進行している場合があります。そのため、定期的に胃がん検診を受け、早期発見に努めることが重要と言えます。

◇胃がん「ピロリ菌」との関係

胃がんの原因の一つとして、「ピロリ菌」が挙げられます。ピロリ菌（正式にはヘリコバクター・ピロリ）は、数本のペン毛で胃の中を移動する菌です。

胃の中は胃酸によって強い酸性になっていますが、ピロリ菌は胃酸を中和する力があり、胃の中に住み続けることが出来ます。ピロリ菌が胃の中に住み続けると炎症が起こりやすく、炎症により胃の粘膜は徐々に薄くなり、萎縮性胃炎になります。ピロリ菌の感染期間が長いほど、萎縮性胃炎になりやすく、範囲が広いほど胃がんのリスクが高まります。

また、ピロリ菌による細胞のダメージ自体が、がんのリスクをさらに高めると考えられています。そのため、今まで一度も病院や健診等でピロリ菌検査を受けたことのない方は、胃がん検診に合わせて、ピロリ菌検査も受けることをお勧めします。

▶ 集団健診：妹背牛町保健センターで受ける

日程	10月17日（土）、18日（日）
内容	特定・一般健診および各種がん検診 ※子宮・乳がんは10/17のみ 胃がん検診の追加項目として、今まで健診や病院で一度も検査をしたことのない方はピロリ菌検査も希望することができます。

まだ間に合います！

令和8年度
健診のご案内

・がん検診センター、厚生病院
は追加料金で胃カメラに変更
することができます。

▶ 個別健診：自分の都合のよい時期と場所で受ける

健診実施機関	受診可能時期	特定 一般	肺	胃	大腸	乳	子宮
北空知の10医療機関	通年	○	がん検診は実施しません				
旭川がん検診センター	通年	○	○	○	○	○	○
旭川厚生病院健診センター	通年	人間ドック				○	
深川市立病院健診センター	令和9年1月～3月	人間ドック・ミニドック				○	